

ぼくの名前はアキ・ラーです。ぼくはカンボジア人です。ぼくが子どものとき、兵士になること（ ））。10年間、ほかの子どもたちと一緒にジャングルで過ごしました。ぼくたちは（ ）。ぼくたちは（ ）こともしました。たくさんの方が死にました。たくさんの方が傷つけられました。これがぼく的生活でした。ぼくには選ぶ自由はありませんでした。このような生活はすべての子どもにとって（ ））思っていました。  
（ ））とき、ぼくは20歳でした。ぼく的生活は完全に変化しました。

ぼくはジャングルを離れました。人生で初めてトイレというものを使いました。ぼくは明るい都市（ ）。いろんな国からやってくる人々と出会いました。彼らはさまざまな違うやり方で生活していました。ぼくは、自分自身の人生に選ぶ自由があることを知りました。

人々のために何かしようと思ひ、カンボジア中の地雷（ ））。

ある日、牛車が地雷（ ））。地雷は爆発しました。牛たちと2人の大人は動きませんでした、野原は静かではありませんでした。（ ））泣いていました。地雷が彼女の周りのいたる所にありました。村人たちはそこへ入っていくこと（ ））。そして、ぼくを探すのに3日もの時間を使いました。

ぼくがその村に到着したとき、野原は静かでした。赤ちゃんは死んでしまったのか？ぼくはできる限り早く、（ ））地雷を取り除きました。ついに、ぼくは赤ちゃんの所に到達しました。彼女を抱き上げると、泣きました。  
（ ））。

このような出来事がぼくを深く感動させました。それで、ぼくは地雷博物館を開きました。それは世界にカンボジアの歴史と（ ））伝えていきます。たくさん地雷が今でもカンボジアやほかの国に（ ））。未来 - 地雷のない世界、平和な世界 - のために、一緒に働きましょう。